

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域性・立地条件等で試行錯誤を繰り返し、「やれることを、やれることからやろう」というホームの信念は、ようやく実を結んだ感がある。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2ヶ月に一度の会議を開催し、活動報告・状況報告等、ホーム側からの働きかけに問題はない。相談・協議の中で、ホームのサービスの向上につながる意見・助言は速やかに運営に反映させる体制がある。	評価
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） ホーム運営に関しては、市担当との連絡・相談・協議を欠かさず、良好な関係を構築している。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族来訪は多く、直接的な意向の聴き取りが可能となっており、利用者毎の介護計画・ホーム運営に速やかに反映させている。今回家族アンケートでも、ホームの対応に感謝の言葉が多く寄せられており、取組みへの評価は高い。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者・家族の意向・意見の聴き取りはもちろんのこと、第三者の意見も積極的に聴き取り、ホーム運営に活かす意識が高い。ホームの課題を全職員で見出し、検討・協議・周知を繰り返しながらサービスの質の向上を考える体制が、管理者・職員間の信頼関係で構築されているところは高く評価できる。ただ一点、運営推進会議のメンバーである市担当者の会議出席がないのが大変残念である。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。